

# SHINOBI-TRAIN



JR草津線と信楽高原  
 鐵道には、忍者ラッピン  
 グ列車が運行しています。  
 JRは黒の車両に、信楽高  
 原鐵道は緑と紫の車両に、  
 忍者のシルエットに流線  
 模様が施された躍動感溢  
 れるデザインになってい  
 ます。列車内にも忍者  
 テイストのデザイン  
 があしらわれ、乗客が  
 楽しめる車両になっ  
 ています。



忍者が潜む  
 つり革

情報交流広場

となりまち



拡大版

# いっとながる 鉄道で いこか

滋賀県甲賀市、伊賀市、亀山市の3市による連携記事「となりまち い・こ・か」は、平成23年2月1日号から連載を始め、各市のさまざまな魅力を発信しています。今回は、拡大版として鉄道遺産を中心に鉄道の魅力について紹介します。鉄道に乗って、となりまちへいこか♪

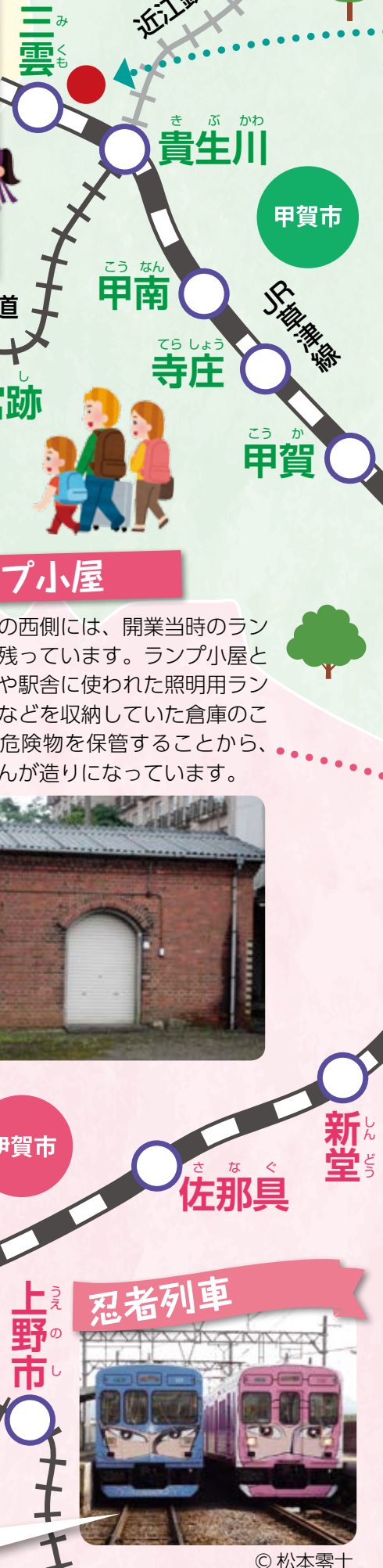
島ヶ原

伊賀鐵道には、「銀河鐵道999」などの作者で知られる松本零士さんがデザインした「忍者列車」が走っています。

忍者列車



© 松本零士



ランプ小屋

柘植駅の西側には、開業当時のランプ小屋が残っています。ランプ小屋とは、車両や駅舎に使われた照明用ランプや燃料などを収納していた倉庫のことです。危険物を保管することから、頑丈なれんが造りになっています。





問合先

【鉄道に関する問合先】

甲賀市公共交通推進課

TEL 0748-69-2215

伊賀市交通政策課

TEL 0595-22-9663

亀山市商工業振興室

TEL 0595-84-5049

【“いこか”の問合先】

甲賀市広報課

TEL 0748-69-2101

伊賀市広聴情報課

TEL 0595-22-9636

亀山市広報秘書室

TEL 0595-84-5021

こくぶきょうりょう  
国分橋梁

JR草津線は、京都～名古屋を結ぶ幹線の一部として、明治23年に関西鉄道(株)が敷設しました。橋梁のアーチ上部に社紋が残る貴生川～三雲間の国分橋梁は全国的にも珍しい橋梁です。

社紋部分

いたやがわきょうりょう  
板屋川橋梁



ほうたにすいどう  
坊谷隧道(トンネル)

長さ163m、西側の入り口は、要石付きの馬蹄形断面アーチの両脇に壁柱を立ち上げ、上部の笠石と帯石の間は、れんがを長い面の段と短い面の段を交互に積み上げる「イギリス積み」という重厚な造りとなっています。

亀山市



長さ35.4m、2連の桁橋で、加太側に約13m、柘植側に約22mの鉋桁を深い谷に掛けています。橋脚は石材を膨らみのある「こぶ出し」に仕上げ、下部を五角形断面として、増水時の抵抗を減らす工夫がされています。

あぶらひ  
油日

柘植

加太

関

亀山

JR紀勢本線

リニア中央新幹線

亀山市では、「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」を中心に、停車駅誘致に向けた積極的な運動を展開しています。

柘植駅ホーム

柘植駅は、明治23年2月19日、三重県下初の鉄道駅として開業しました。1番線のプラットホームは、「フランス積み」といわれ、一段にれんがの長い面と短い面を交互に積む全国的にも珍しい造りです。

